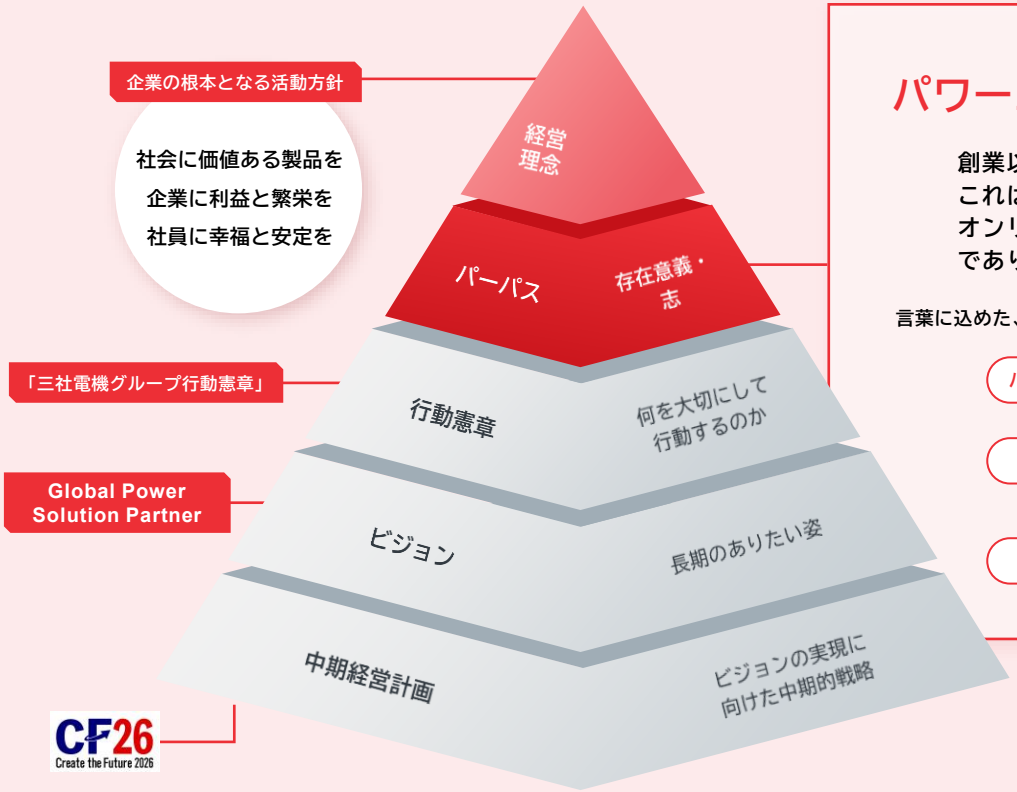
理念体系とパーパス



パーパス

パワーエレクトロニクスと創造力で、社会を前進させる。

**創業以来、私たちは「電気の変換と制御」に向き合ってきました。
これは、これからも変わることはありません。
オンリーワンの技術やサービスにこだわり、社会を「明るい未来」へ前進させる存在であり続けること。それが私たちの存在意義であり、志です。**

言葉に込めた、私たちの想い

パワーエレクトロニクス
私たちの変わることがない社会の役割、事業領域。
私たちは常にパワーエレクトロニクスと向き合っていきます。

創造力
私たちは技術の会社ですが、技術者だけでなく、
全ての社員がパーパスを基に活動していきます。
全ての社員が創造性を意識して、オンリーワンにこだわって活動していきます。

社会を前進させる
電源機器とパワー半導体のメーカーとして、
社会がより良い方向に進んでいく源であり、力になっていくこと。
私たちが存在している意義であり、志です。



三社電機グループは、「経営理念」を最上位に据え、その理念を具体化するものとして「私たちの志（パーパス）」を定めています。理念体系は、「経営理念」を起点に、「パーパス」「行動憲章」「ビジョン」、そして「中期経営計画」へと展開され、すべての事業活動の基盤となっています。

私たちは、パーパスを社会課題の解決と企業の持続的成長を両立するための価値創造の起点と位置付け、従業員一人ひとりが日々の業務の判断や行動の拠り所としています。中期経営計画「CF26」においても、「パーパスの実現」を大方針に掲げ、事業戦略やサステナビリティ戦略、マテリアリティへの取り組みを推進しています。

パーパスの浸透と実践

当社グループでは、経営理念やパーパスを従業員一人ひとりが理解し、日々の業務で実践できるよう、社内掲示や社内報、eラーニングなどを通じた浸透活動を継続しています。また、自らの業務とパーパスとのつながりを考える機会を設けることで、主体的な行動と創造力の発揮につなげています。今後も、パーパスを企業文化として定着させ、持続的な成長と社会への価値提供を目指します。

パーパス策定の背景

当社グループのパーパスは、2023年に若手・中堅社員を中心とした「MIRAIプロジェクト」により策定しました。創業以来大切にしてきた経営理念や企業文化を基盤に、「これまでの三社電機」と「これからの三社電機」をつなぐ存在意義として明文化したものです。浸透活動の一環としてパーパスムービーを制作しましたので、ぜひご覧ください。

パーパスムービー
https://www.youtube.com/watch?v=IVQ1JerOjlY